

第1学年 3学期

科目	評価について	
国語	言葉の使い方を理解し、文字を正しく書くことができる。 (知識・技能)	<p>【しをたのしもう】【お手がみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 <p>【みぶりでつたえる】【ことばでつたえよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 <p>【文をつくろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の中における主語と述語の関係に気付いている。 <p>【かん字のひろば③④】【かわるよみかた】【にているかん字】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 <p>【学校のことをつたえあおう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 <p>【おもい出のアルバム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 <p>【しりとりであそぼう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。 <p>【こくごのがくしゅう これまでとこれから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。
	自分の思いや考えをもつことができる。 (思考・判断・表現)	<p>【みぶりで つたえる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 <p>【みぶりで つたえる】【お手がみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 <p>【みぶりで つたえる】【お手がみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 <p>【学校のことをつたえあおう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 <p>【学校のことをつたえあおう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 <p>【おもい出の アルバム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 <p>【おもい出の アルバム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 <p>【おもい出の アルバム】【お手がみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 <p>【こくごの がくしゅう これまで これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 <p>【こくごの がくしゅう これまで これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	すずんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)	<p>【しを たのしもう】【ゆき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。 <p>【ぶんしょうと えを あわせて よもう】【みぶりで つたえる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章の内容と自分の体験とを結び付けて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 <p>【文を つくろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。(行動観察、発言) <p>【かん字の ひろば ③】【かわる よみかた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。 <p>【きいた ことを 正しく つたえよう】【学校の ことを つたえあおう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。 <p>【ことばで つたえよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って言葉で表そうとしている。 <p>【つたえたい ことを おもい出して かこう】【おもい出の アルバム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。 <p>【かん字の ひろば】【にて いる かん字】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。 <p>【しりとりで あそぼう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。 <p>【ようすを おもいうかべながら よもう】【お手がみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。 <p>【こくごの がくしゅう これまで これから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで話題を決め、今までの学習を生かして思い出したことや2年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

<p>算数</p>	<p>数のしくみ・図形・数量関係を理解し、正しく計算をすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【おおきいかず】 ・120程度までの数の読み方、数え方、書き方、数の構成や大小などを理解することができる。 ・2位数の数の構成を足し算や引き算の式に表すことができる。 【どちらがひろい】 ・面積についての意味や、比較の方法、「いくつぶん」による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身に付け、直接比べたり、「いくつぶん」で比べたりする方法で測ることによって、面積を比べることができる。 【なんじなんぶん】 ・何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。 【たしざんとひきざん】 ・順序を表す数や異なる仲間の数を含む足し算や引き算の場面、求大(AはBよりいくつ多い)や求小(AはBよりいくつ少ない)の場面も足し算や引き算の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。 【かたちづくり】 ・身の回りにあるものの形の特徴をとらえ、直線で構成されたものも面で表されたものと同じようにみられることを理解できる。 ・色板や数え棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。</p>
	<p>数量や形の構成の特徴を捉えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【おおきいかず】 ・既習の数の表し方の仕組みを基に、簡単な場合の2位数の足し算、引き算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現している。 【どちらがひろい】 ・身の回りにあるものの面積に着目して、直接比べたり、「いくつぶん」による面積の比べ方を考えたり、「いくつぶん」により面積を数値で表したりしている。 【なんじなんぶん】 ・短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。 【たしざん ひきざん】 ・数量の関係に着目し、順序を表す数や異なる仲間の数を含む足し算や引き算の場面、求大(AはBよりいくつ多い)や求小(AはBよりいくつ少ない)の場面を図や式に表して考え、表現している。 【かたちづくり】 ・身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴をとらえたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。</p>
	<p>数や図形に親しみ、算数のよさや楽しさを感じながら学ぶことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【おおきいかず】 ・数の構成を活用して、数の数え方や足し算、引き算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【どちらがひろい】 ・身の回りにあるものの面積に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【なんじなんぶん】 ・時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ・順序を表す数や異なる仲間の数を含む足し算や引き算の場面、求大(AはBよりいくつ多い)や求小(AはBよりいくつ少ない)の場面を図に表して問題を解決することのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【かたちづくり】 ・身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりすることのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>
<p>生活</p>	<p>自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【ふゆをたのしもう】 ・冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心とともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 【もうすぐ2ねんせい】 ・入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【ふゆをたのしもう】 ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。 【もうすぐ2ねんせい】 ・入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだり、自分のことや支えてくれた人々について見付けたりしている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【ふゆをたのしもう】 ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている 【もうすぐ2ねんせい】 ・入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。</p>
<p>音楽</p>	<p>音楽の仕組みに気づき、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【きょくのながれ】 ・曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに関心している。 【めざせがっきめいじん】 ・曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに関心している。 ・思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。 【うたでまねっこ】 ・曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに関心している。 ・思いに合った表現に必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【みんなであわせて】 ・旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。</p>

<p>音楽表現を考えることや、音楽を楽しんで聴くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【きよくのながれ】 ・旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【めざせがっきめいじん】 ・旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【うたでまねっこ】 ・フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【みんなであわせて】 ・旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。</p>	
<p>楽しく音楽に関わり、身の回りの音楽に親しむことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【きよくのながれ】 ・曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【めざせがっきめいじん】 ・楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【うたでまねっこ】 ・聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【みんなであわせて】 ・短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	
<p>図画工作</p>	<p>用具の使い方を知り、つくったり、かいたりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【みて、さわって、かんじて】 いろいろな種類の紙を見たり触ったりする活動を通して、形や色、触った感じなどの違いに気付いている。 【くしゃくしゃしたら、だいへんしん】 ・薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色、触った感じなどに気付いている。 ・表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。 【できたらいいな、こんなこと】 ・互いの作品を見合うことを通して、描かれているものの形や色のよさに気付いている。 ・伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。 【はことはこをくみあわせて】 ・いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色の面白さに気付いている。 ・紙箱の組み合わせ方や飾り付け、接着の方法など、表したいことをもとに工夫して表している。 【こころのはなをさかせよう】 ・みんなで作品を飾ることを通して、花の形や色のよさや面白さに気付いている。 ・伝えたい気持ちをもとに、花の形や色の表し方を工夫して表している。</p>
	<p>作ることの面白さや楽しさに気付くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【みて、さわって、かんじて】 ・いろいろな種類の紙の、形や大きさ、色、触った感じなどの違いや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。 【くしゃくしゃしたら、だいへんしん】 ・くしゃくしゃにした薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見付けている。 【できたらいいな、こんなこと】 ・経験したことや想像したことをもとに「やってみたいこと」を思い付き、どのように表すかを考えている。 【はことはこをくみあわせて】 ・紙箱の形や色などをもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。 【こころのはなをさかせよう】 ・新入生や卒業生への思いをもとに飾りたい花を思い付き、どのように表すかを考えている。</p>
	<p>楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【みて、さわって、かんじて】 ・いろいろな紙の形や色、触った感じに関心をもち、手や体全体の感覚を働かせて楽しく取り組もうとしている。 【くしゃくしゃしたら、だいへんしん】 ・くしゃくしゃにした薄紙から形をみつけて表すことに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【できたらいいな、こんなこと】 ・経験したことから自由に想像を広げながら、楽しく絵を描く活動に取り組もうとしている。 【はことはこをくみあわせて】 ・箱を組み合わせることによっていろいろな形ができることに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【こころのはなをさかせよう】 ・新入生や卒業生に喜んでもらおうと、気持ちを込めて絵を描く活動に取り組もうとしている。</p>
<p>体育</p>	<p>運動の仕方を知り、いろいろな運動ができる。 (知識・技能)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】 ・手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 【ボールゲーム】 ・簡単なボール操作と攻めと守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。 【鬼遊び】 ・一定の区域で逃げたり、追いかけたり、陣地を取り合ったりすることができる。 【多様な動きをつくる運動遊び】 ・姿勢、速さ、リズム、方向等を変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでの駆け足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・跳び乗りや跳び下り、手を着いての、またぎ乗りやまたぎ下りをするすることができる。</p>

<p>それぞれの運動を工夫して活動し考えたことを他者に伝えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【ボールゲーム】【鬼遊び】 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p>
<p>きまりを守り、なかよく運動することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 【ボールゲーム】【鬼遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。</p>